

## 公認ファシリテーター養成講座の受講をご検討の皆さまへ

この度は「SDGs アウトサイドインカードゲーム」の公認ファシリテーター養成講座の受講をご検討いただき、ありがとうございます。

このご案内は、皆さまが実際に「SDGs アウトサイドインカードゲーム」の公認ファシリテーターとしての活動に参加するかどうか、ご判断いただくための資料として作成いたしました。長文ですが、大切なお知らせになりますゆえ、お付き合いくださいませ。

### 目次

1. 「SDGs アウトサイドインカードゲーム」と開発背景
2. 価格について
3. 価格体系の背景
4. 最後に

## 1 | 「SDGs アウトサイドインカードゲーム」と開発背景

「SDGs アウトサイドインカードゲーム」は、株式会社オークジャパンと、株式会社プロジェクトデザインが共同で企画・開発した、世界が直面する社会課題をビジネスの力で解決することを目指すカードゲームです。

本ゲームは2011年3月に発生した東日本大震災がきっかけとなって生まれました。仙台に本拠地を置くオークジャパンにとって、見渡す限り一面の荒廃から、それぞれの描いた未来へむけて少しずつ息を吹き返していく過程は忘れられないものとなりました。

宮城県の仙台空港隣に北釜という集落がありました。海岸に面したエリアです。そこに高さ12メートル（痕跡高）の津波が押し寄せましたが、深く根をはった松林が押し倒されるまでの時間が30秒ほどかかったため助かった鈴木英二さんという方がいらっしゃいます。

震災後、鈴木さんは、自分の命を救ってくれた海岸林の再生をすべく北釜集落の有志を誘い、公益財団法人オイスカ及びオイスカインターナショナルの支援を受け、国や県、市の税金を一切使わない海岸林再生プロジェクトを立ち上げました。森林組合員になる研修（組合員のみが「種」を譲り受けられる）を受け、土地を確保し、雪の中で圃場整備を行い、根が地中深く伸び津波に強い抵抗性クロマツの種を譲り受け、育て、植林するという被災者向け

のソーシャルビジネスです。津波被害の直後から始まったこのプロジェクトは、現在 10 年計画の 9 年目になりました。植栽はほぼ完了していて最後の仕上げ段階です。

鈴木さんが地域の仲間と共に進める「海岸林再生の会プロジェクト」は、東日本大震災をきっかけに立ち上がった数多くのプロジェクトの中のひとつです。被災地では、年齢・性別・職業等を問わず志ある様々な方々が社会課題を解決するために行動を起こし、事業として持続可能な活動になっているものも数多く存在します。

社会が抱える課題を見つけ、事業を通じて解決する<アウトサイドイン>の取り組みは、東日本大震災の被災地に限らず、日本国内、また世界各地至るところで生まれています。

この概念を広め、誰もが普遍的に実行でき、再現可能なサイエンスにすることを目指して、本カードゲームは生まれました。

本カードゲームでは次のようなことを学んで頂くことが出来ます。

- ・ **事業創造にあたって SDGs の考え方を活用することで生まれる機会**
- ・ **社会課題と個人の意思を起点として新規事業を構想する方法**
- ・ **組織内外のリソースを活用し、スピーディーに事業を実現する方法**
- ・ **個人や組織がしらすらすらと間に身に着けている事業創造に対するメンタルモデル**

ゲームとしては 1 年間の開発期間と、テストプレイを通じいったん完成した、と考えていますが、今後はファシリテーターの皆様とも協力しながら、振り返りの方法やゲームを通じて伝えるメッセージのブラッシュアップを続けていければと思っています。

また、これまで（株）プロジェクトデザインは SDGs の理解や認知・拡大を促進するツールを複数産み出して参りましたが、参加者およびファシリテーターの方々から「SDGs を解決する取り組みに関して、具体的な一歩を踏み出すことを支援するためのツールが欲しい」という要望を多く頂いております。その要望にお応えすることを目指したツールでもあります。

今後も公認ファシリテーターの皆様と協力しながら、さらに気づきの示唆や、熱狂を生み、各地で体験が活かされるようブラッシュアップし続けていく所存です。

## 2 | 価格について

「SDGs アウトサイドインカードゲーム」を活用するためには、大きく 2 種類の費用が



必要です。

#### 1) ファシリテーターになるための費用

ほぼ丸一日を費やして、ファシリテーター養成講座を受講いただき、修了頂くことでファシリテーターとしてカードキットを使うことができますようになります。その資格を取得し、ともにツールを拡げ、ブラッシュアップしていく費用としてイニシャルで 120,000 円（税別）で提供させていただきます。

#### 2) サポート費用と利用フィー

今後、さらに多くのファシリテーターがより多くの人たちに高品質なゲーム体験の場を提供し、SDGs で示された課題を解決していくためには、ファシリテーター同士が学び合える関係づくり、数多くのゲーム体験の場の確保、ファシリテーションのクオリティの向上が大切だと考えています。このような考えに基づき、以下の通り「サポート費用」と「利用フィー」を設定しています。

##### (A) サポート費用

年間 24,000 円（月額 2,000 円）（税別）がかかります。具体的には、次のようなサポートを考えています。

- ・プレゼンテーション資料の提供
- ・公認ファシリテーター情報の登録・公開
- ・公認ファシリテーター主催イベントの告知・PR
- ・カードのリニューアル、見直し（修正したカードの無償提供）
- ・紛失したカードの補填（年間 5 枚まで。6 枚目以降は実費）
- ・ファシリテーションのクオリティ向上に役立つツールの提供
- ・ファシリテーターコミュニティの運営
- ・事務局に届いた研修依頼案件の積極的ご紹介
- ・オンライン（Zoom）によるファシリテーター向け勉強会の企画、開催  
（SDGs やアウトサイドインに関するノウハウ提供、ファシリテーション技術の高度化など。年 4 回を想定）

今後公認ファシリテーターとして活動される中で、他にも必要なサポートがありましたら、随時検討していきたいと思っていますので、ご提案ください。

##### (B) 利用フィー

利用フィーとして売上金額の 20%をご請求いたします（※）。例えば「SDGs アウトサイドインカードゲーム」を使ったイベントやワークショップを有料で開催したり、研修サービ

スとして外部に販売（企業研修等）したりするケースがこれにあたります。利用フィーが発生する催しを行った際は、金額と内容について事務局にご報告ください。

※ただし、公式サイトに申請され、掲載された一般向けのイベントに関しては利用フィーの支払いは（有料の参加費をいただくものであっても）不要です。本ゲームの認知・拡大のためにご活用ください。

※また、自らが属する団体組織内での研修など、講師への謝礼が発生しにくい、あるいは発生させてはならない場（無料開催）では、利用フィーは発生いたしません。SDGs やアウトサイドインの考え方を理解し、広げるツールとしてお役立てください。

### 3 | 価格体系の背景

SDGs アウトサイドインカードゲームは、ビジネスを通して社会課題を解決する社会起業家を増やす、という題材の主旨からしても「たくさんの方々々に体験し、理解を深めてもらう」ことが何より大事だと考えています。一方で、このゲーム自体、持続可能な形でなければ広がらないとも考えています。持続可能な形について次のように考えています。

- i. 本ゲームを用いたワークショップが品質の高いファシリテーションによって高い評価を得続けること
- ii. ワークショップのファシリテーション手法が継続的にブラッシュアップされ、共有されていくこと
- iii. ファシリテーターの方々々がワークショップを開催しやすいような支援の体制を維持継続し整え続けていくこと

上記条件を満たしていくためには、公認ファシリテーター希望の方々にはしっかりとしたツールの活用法を伝授する場を設け続けなければいけないと考えています。

また、ファシリテーターの方々々がオンライン・オフラインの場を通じて定期的に集い、学び合う場やコミュニケーションできる場を設けることや、ブラッシュアップされたツールがタイムリーに届く環境を整えなければいけないとも考えています。

ファシリテーター研修の対価として頂く上記「サポート費用」や「利用フィー」は、上記3点が満たされるよう活用させていただきます。

また、本ゲームのみならず、これまで作ってきたツールを広めていく経験を通じ、無償化に合ったツールと合わないツールがあると感じています。無償とした場合のデメリットとして、労せず手に入れたものは簡単に捨てられてしまう、品質の低いファシリテーションを

軽々しく行われてしまう、という傾向があると考えています。事務局としましては、一定のコミットメントがある方を対象にファシリテーション研修を実施したいという思いもあり、本価格体系を踏襲しています。

#### 4 | 最後に

「SDGs アウトサイドインカードゲーム」養成講座の6月開校については、“オンラインでの開催”とさせていただきます。下記のような事前の準備もありますので、出来れば開催7日前まで、お申込みくださいます様、お願いいたします。

##### 【お願い事項】

- ①オンライン受講のための必要事項記入用紙をお送り致します→提出ください。  
※お名前、キット送付住所、連絡先、必要事項、gmail アドレス取得のお願い等。
- ②カードキット及びテキスト、使用データは事前に送付いたします。  
※上記①の確認の後に、事前に必要なキット等を一式送らせていただきます。
- ③Zoom によるオンライン開催です。  
※Zoom に不慣れな方もいらっしゃいますので、数日前に確認の顔合わせ会を行わせて頂きますのでご協力をお願い致します。

それでは皆様とお会いする日を心から楽しみにしています

2020年5月吉日

株式会社オークジャパン 葉坂 廣次

株式会社プロジェクトデザイン 福井 信英